

大分県人権教育・啓発推進協議会 令和7年度事業報告

1 事業報告

本協議会は、部落差別問題（同和問題）の啓発を目的に、昭和57年に「大分県同和問題啓発推進協議会」として設立した。その後、同和対策特別措置法等による特別対策が平成14年に終了したことを受け、「大分県人権教育・啓発推進協議会」として、部落差別問題（同和問題）をはじめとする様々な人権問題の解決に向けた県民啓発を総合的かつ効果的に推進していくこととした。

令和7年度は、行政機関をはじめ各団体等の相互連携を図り、県民一人ひとりが人権尊重の担い手であることを認識できるよう、次の3つを柱として事業を実施した。

（1）人権尊重の心づくりの推進

- ・ 部落差別をはじめ、不当な差別解消に向けた取組を進める8月の「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」及び、人権の理解を深める12月4日から10日の「人権週間」における行事等を県等と共催し、県民の人権意識の高揚を図った。
- ・ 運動月間の啓発として「人権県民講座」を開催し、「部落差別とマイクロアグレッション」をテーマに、無意識・無自覚な加害行為の防止に向けた啓発を実施した。
- ・ 人権週間の啓発として開催した「人権啓発フェスティバル」では、「インターネット上の人権」及び「犯罪被害者とその家族の人権」の啓発ブースを新設し、また、クイズラリーに関わるブースを増やす等の工夫により、来場者が会場内を巡りながら多様な人権課題について学ぶきっかけとした。さらに、街頭啓発やYouTube 広告、新聞、映画館でのシネアド等の活用など、日頃啓発活動に接する機会の少ない人々に対しても広く啓発を行った。
- ・ 「SNS 時代の人権」をテーマに講演会を開催し、インターネット上で人権侵害が生じやすい構造や背景への理解を深めるとともに、被害及び加害の防止に向け一人ひとりが日常の中でできる行動について考える機会を提供した。
- ・ 大分県人権啓発イメージキャラクター「こころちゃん」を活用し県民に親しみやすい教育・啓発活動を実施した。

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

- ・ 企業・団体や地域社会において、部落差別問題をはじめとした人権課題への理解を深めるため、本協議会に登録された人権啓発講師の派遣等により、企業・団体等の自主的な研修の取組を支援した。
- ・ 企業・団体を対象に、職場内に高い人権意識を持つ啓発リーダーを養成する研修を実施した。社会情勢に応じた、職場に関連深い人権課題をテーマに選定し、さらに、令和7年度から受講料を無料化することで、受講者の増加につながった。
- ・ 人権啓発講師を対象に、「マイクロアグレッション」の基礎知識や啓発手法、及び参加体験型講座（ワークショップ）を行う「ファシリテーション技術」の習得を目的とした研修を実施し、講師のスキル向上を図った。

<人権啓発講師登録・派遣状況>

○R7年度登録数	75人
○派遣件数	169件
○受講人数	9,461人

(3) 人権啓発のものづくりの推進

- ・ 人権・部落差別問題に関する資料や書籍、DVD等ライブラリーを整備し、県の人権情報プラザの運営に連動させて啓発資料の利用を促進した。
- ・ 「啓推協だより」の発行等を通じて、研修会や各種啓発イベント等の情報提供を行うとともに、講師派遣事業や啓発資料の活用を促進した。

<人権情報プラザ整備・利用状況>

	[整備状況]	[R7年度利用状況]
○書籍	5,025冊	411冊
○DVD	149本	187本
	(R8.4.1時点)	

1 人権教育・啓発の推進

(1) 人権尊重の心づくりの推進

事業の概要	備考
①人権ポスターの募集 人権問題に関するポスターを広く県民から募集し、人権問題について考えてもらう機会を提供するとともに、優秀作品については、表彰・展示を行った。 また、啓発ポスターをはじめ様々な啓発資料としても活用した。 ○応募点数：829点 ○入賞：最優秀賞4点、優秀賞8点、奨励賞36点、学校奨励賞5校、啓推協特別賞1校 ○表彰式・展示 ・「ヒューマンフェスタ2025おおいた」（大分市ガレリア竹町ドーム広場）で表彰 ・県議会ロビーにて展示 ・OPAM（大分県立美術館）にて展示	【募集期間】 7/1～9/10 11/22 11/26～12/5 12/8～12/19
②差別をなくす運動月間（8月）：部落差別解消に向けた取組 8月の「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」中、ポスターの掲示や県庁舎等での各種展示、部落差別の解消に向けた啓発を集中的に行った。 ■マイクロアグレッションのパネル展示 「日常の中にある部落差別と“マイクロアグレッション”」をテーマとしたパネル展示を、県庁舎において実施するとともに、8月27日の県民講座会場にも特設展示として設置した。 ・場所：県庁舎本館県政展示ホール（8/12～8/26）、グランツたけた 廉太郎ホール（8/27） ・対象：県民、県職員 ■県立図書館企画展「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」 部落差別をはじめとする人権課題に関する図書や資料を展示 ■部落差別等あらゆる差別をなくす運動月間「県民講座」の開催 ○場 所：グランツたけた 廉太郎ホール ○参加者：一般県民366人 ○内 容：講演会「思ってたより明るいんですね～悪意なく行われる部落差別～」 【講師】 内田 龍史 氏（関西大学社会学部教授）	★8月 8/12～8/27 8/1～8/31 ※竹田市共催8/27
③「ヒューマンフェスタ2025おおいた」の開催 楽しみながら人権に触れ人権感覚を磨いてもらうため、多様な人権課題に関する多彩な催し（参加型を含む）を開催した。 ○場 所：ガレリア竹町ドーム広場（大分市） ○参加者：一般県民、行政、団体等 約2,000人 ○行事内容 【ステージイベント】 ●隣保館活動紹介 ●人権作品表彰式〔ポスター、標語、作文〕 ●Buzz Beat “JAM” コンサート ●キッズステージ「Small World」 ●義足のダンサー「大前光市」ステージ ●小さな手話レッスン ●キッズステージ「MERAKI ダンススタジオ」 ●アルケミスト～心の笑顔コンサート ●フィナーレ「切手のない贈り物」合唱	11/22

(1) 人権尊重の心づくりの推進

事業の概要	備考
【会場イベント】 ●絵はがき作りワークショップ、ほのぼの写真コンテスト写真展示 (法務局、県人権擁護委員連合会) ●隣保館活動紹介コーナー (県隣保館連絡協議会) ●人権DVD鑑賞コーナー (県人権・部落差別解消教育研究協議会、県) ●人権啓発コーナー - 考えよう！インターネットと人権 / 女性に対する暴力防止 / 大分県にもっと！里親を！ - 高齢者の人権に関する啓発 / 発達障がい啓発・相談・多文化共生を考えよう - 臓器移植・骨髄バンク啓発 / ハンセン病・原爆パネル展示 / 旧優生保護法相談窓口案内 - みんなで知る性の多様性 / 知ってください！犯罪被害（二次的被害） / 働き方のトラブル相談 ●人権クイズラリー ●マルシェコーナー (一般社団法人おおいた共同受注センター会員事業所) ●ユニバーサルスポーツ体験コーナー (運営協力／大分県レクリエーション協会) ●人権作品展示コーナー ●メッセージカードのワークショップ＆書のプレゼント	
④マスメディアを活用した啓発の実施 ○新聞広告の掲載 (大分合同・読売・朝日・毎日・西日本) ・ヒューマンフェスタ2025 (11/22)、人権週間 (12/4～10)、 - 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 (12/10～16)、人権相談ダイヤルの周知広告 ○人権啓発動画の放映 ●人権週間、北朝鮮人権侵害問題啓発週間の周知を含めた人権メッセージ動画の放映 【媒体】シネアド (アミュプラザおおいた) ●人権作品優秀作品を活用した人権週間啓発動画の放映 【媒体】街頭ビジョン (ガレリア竹町、セントポルタ中央町) / YouTubeバンパー広告	11/15 11/25～ 12/25 12/1～31
⑤重点啓発事業 インターネット上の人権侵害が深刻化する中、県民一人ひとりがこの課題を自分事として捉え、誹謗中傷等の加害を防ぎ被害を深刻化させないための行動変容につなげることを目的として、「インターネット上の人権侵害」をテーマに講演会を開催した。 ○開催方法：オンラインライブ配信・録画配信 ○内容：＜インターネット上の人権侵害＞ 「SNS時代の人権侵害 ～誰もが加害者にも被害者にもなりうるインターネット社会をどう生きるか～」 【講師】山口 真一氏 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター教授) ○参加実績：324名	3/9
⑥公正採用に向けた取組 企業・団体啓発リーダー養成講座内で研修を行うほか、大分人権啓発企業連絡会等を通じて啓発を行った。	

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
①人権啓発講師向け研修会 ■人権啓発講師研修交流会 ----- 登録講師を対象として、講師登録・派遣事業の趣旨、人権啓発講師としての活動内容や県等が実施する研修等の年間事業計画の周知を行うとともに、人権課題に関する研修及び講師間の交流会を開催した。 ○内 容：県の事業説明等（今年度の事業計画、講師登録及び派遣事業、人権尊重施策基本方針の改定）哲学対話～ひとつの問いに向き合うことで人権の学びを深めよう～（講義、哲学対話体験、振り返り） ○場 所：県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室 ■講師スキルアップ研修（前期） ----- 登録講師を対象に、人権に関する知識や効果的な研修手法の習得とともに、講師間の自主的な研鑽活動を促すための交流・仲間づくりの機会の提供を目的とした研修を実施した。 【研修内容】 テーマ：「マイクロアグレッション」の基礎知識と啓発方法 講 師：在日コリアンカウセリング&コミュニティセンター（ZAC） センター長 丸一 俊介 氏（公認心理師／精神保健福祉士） ○場 所：大分市コンパルホール300会議室 ○参加数：延べ 38名 ■講師スキルアップ研修（後期） ----- 登録講師を対象に、人権研修の参加者が安心して対話できる場をつくり、互いの価値観や考えを引き出しながら気づきを促すための「ファシリテーション技術」を習得することを目的とした研修を実施した。 【研修内容】 テーマ：マイクロアグレッションを考えるファシリテーション研修 ～ 安心して対話でき、気づきを生み出す「場」をつくるために～ 講 師：キャリアヴォイス 代表 山崎 美和 氏（キャリアコンサルタント） ○場 所：県消費生活・男女共同参画プラザ 「アイネス」 2階大会議室 ○参加数：延べ 30名	5/23 ★11月（2日間） 1日目 （11/26） 2日目 （11/27） ★2月【2日間】 1日目 （2/10） 2日目 （2/16）
②人権入門講座 人権に関わる活動を実践しているNPOやボランティア団体、人権問題に関心がある県民を対象に、分野別課題の基礎知識を習得する講座を開催した。（4日間開催） また、全講座受講者を来年度からの人権啓発講師候補とし、登録依頼を行った。 ○開催方法：会場（県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス大会議室） オンラインリアルタイム配信、録画配信（期間限定、受講者に限る） ○参加実績：215名	★7～8月【4日間】

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
【第1回】 1.人権総論 大分県人権啓発講師 藤井 正直 氏 2.外国人の人権問題 別府満部学園短期大学ライフデザイン総合学科准教授 里中 玉佳 氏 <共生の町～多文化を認め合える社会へ> 3.障がい者の人権問題 自立支援センターおおいた 池上 輝 氏 <重度な障がいがあっても地域で楽しく生きる（僕が今を楽しむ理由）> 【第2回】 4.部落差別問題 西日本新聞報道センター部次長 中原 興平 氏 <取材現場から考える部落問題> 5.インターネット上の人権侵害やAIをめぐる人権侵害リスク 武蔵野美術大学教授 志田 陽子 氏 （オンライン登壇） <インターネット上の権利侵害問題と『自由』の意味> 【第3回】 6.性的少数者の人権問題 大分県人権啓発講師/お悩みコンシェルジュEndne代表 布施 順子 氏 <知ることからはじめていく、うごいていく。> 7.女性の人権問題 PLATICA代表 渡邊 安衣子 氏 （オンライン登壇） <人間関係、ジェンダー平等からなる『包括的性教育』を学ぶ> 【第4回】 8.こどもの人権問題 チャイルドラインおおいた代表 平井 貴美 氏 <こどものキモチによりそうとき～こどもの権利条約から考える～> 9.犯罪被害者やその家族の人権問題 大阪公立大学国際基幹教育機構准教授 吉田 博美 氏 <犯罪被害者とその家族が抱える問題を理解し、支援を考える>	第1回（7/15） 第2回（7/24） 第3回（7/31） 第4回（8/19）
③「人権啓発市町村職員研修」 市町村における人権啓発活動及び人権施策の推進に資することを目的に、市町村職員を対象に研修会を開催した。※「人権入門講座」と同時開催	※②と同時開催
④企業・団体啓発リーダー養成講座 企業や各種団体における人権啓発推進のため、企業や各種団体内に高い人権意識を持つリーダーを養成するための講座を実施した。 ○開催方法：オンライン開催 ○参加実績：68団体／105名 【第1回】 1.行政説明 県人権尊重・部落差別解消推進課 <大分県の人権施策> 2.ハラスメント （株）オグラパートナーズ代表取締役 小倉 千尋 氏 <職場等におけるハラスメント防止対策> 3.部落差別問題 株式会社HRCコンサルティング 小西 愛里紗 氏 <わたしと部落問題－日常におこる差別－>	★9月【2日間】 第1回（9/3）

(2) 人権啓発のひとづくりの推進

事業の概要	備考
【第2回】 4.インターネット上の人権侵害 メディア研究メディア研究者/広島大学客員教授/元NHK放送文化研究所研究主幹 村上 圭子 氏 ＜メディアの視点から考えるインターネット上の発信の課題と可能性＞ 5.性の多様性 SOGIE (LGBT) サポートチームココカラ！共同代表/弁護士 森 あい 氏 ＜性の多様性から考える、誰もが安心して働ける職場～取組事例とそのポイント～＞ ⑤企業・団体への人権啓発講師の派遣 企業や各種団体が実施する人権啓発研修に、人権啓発講師を派遣した。 ○派遣件数： 169件 (初回無料派遣制度利用分含む) ○受講人数：9,461人 ○テーマ：部落差別問題、ハラスメント、性的少数者、インターネット等	第2回(9/25)
⑥人権啓発講師研修派遣 人権啓発講師の資質向上のため、県外研修会に派遣した。 ○第50回部落解放・人権西日本夏期講座 1名 日程：R7.6.12～13 会場：琉球新報ホール（沖縄県那覇市）	

(3) 人権啓発のものづくりの推進

事業の概要	備考
①機関誌「啓推協だより」の発行 構成団体による啓発の一体的な取組の推進を図るため、行政・啓発関係等の情報提供を行った。 ○No.101、102、103号発行 (各2,900部)	4月、7月、10月
②人権ライブラリーの整備、図書管理・検索システムの運用 人権課題に関する図書やDVD等を購入し、啓発資料・教材の充実及び「大分県人権情報プラザ」の活用促進を図った。 ○図 書：5,025冊 ○DVD： 149本 (令和8年4月1日現在)	
③人権教材・こころちゃん着ぐるみの貸出し 市町村、企業、団体等の啓発活動のため、人権教材の貸し出しを行った。 ○図 書：411冊 ○DVD：187本 ○着ぐるみ：2回 (令和8年3月31日現在)	
④啓発資料等の購入・配布 人権問題に関する正しい知識を身につけてもらうため、各種啓発資料を購入し、人権啓発講師による研修等において活用した。	

2 運営推進

(1) 会議の開催等

事業の概要	備考
総会の開催	6/2